

# 令和4年度事業報告書

はじめに

公益財団法人おおいた共創基金は、平成25年の設立以来、行政、企業等が対応しきれない分野の地域課題の解決に取り組むNPO団体の活動を支援しています。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、社会経済活動が縮小し、これまで以上に様々な課題の発生やその多様化が予想されたため、基金としても様々な関係機関と一層の連携を図りながらNPO団体への支援を継続してまいりました。

## 1 資金的活動基盤強化事業

### (1) OA機器助成事業

平成27年度から大分県内で地域貢献活動に取り組むNPO(NPO法人及び任意団体)に対し活動に必要なOA機器を助成しており、今年度もニーズが多いOA機器の助成事業を実施した。

37団体から応募があり、申請内容(OA機器の必要度など)及びNPO活動の実績等を審査し、21団体に助成することを決定して、令和5年3月6日に開催した「めじろんフォーラム2023」において、OA機器を贈呈した。

・ノートパソコン：13団体      ・プリンター：3団体      ・プロジェクター：5団体

※総額：1,584,220円

### (2) NPO基盤強化支援事業

平成28年度から実施している。

県内NPO団体が自ら寄付金集めのノウハウを身につけることにより、その基盤強化に取り組み、地域課題解決のための継続的な活動ができるよう支援を行うもの。

令和4年度は3団体を採択した。

・認定特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター	100,000円
・特定非営利活動法人 まど	100,000円
・特定非営利活動法人 シネマステーション大分	100,000円

### (3) ふるさと創生NPO連携促進事業

特定非営利活動法人、法人格のないボランティア団体、市民活動団体及び地域コミ

ユニティー団体（以下、「NPO団体」という。）が、他のNPO団体や企業等の多様な主体と協働して行う地域活性化や地域の課題解決などふるさと創生を推進する取組に対して、支援することにより、NPO団体同士や多様な主体との連携促進、NPO団体の育成及び県民全体で支える地域社会の創生を目指し、本年度は3グループ（協働体）の事業に対して、それぞれ補助金100万円を交付し、伴走支援を行った。

また、当該事業に応募したNPO団体に対して事業計画作成等の支援を行った中間支援団体に当該経費として105,250円を助成した。

令和4年度ふるさと創生NPO連携促進事業の採択団体・事業概要一覧

採択団体	事業概要	事業費 (千円)
<p>〈主担当〉 NPO法人 子育て応援レストラン 一般社団法人 LBM 社会医療法人 関愛会</p>	<p>3団体の交流拠点である農園「坂ノ市オレンジファーム」での農作業を通じて、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、各々が存在意義を実感し、生き生きと活躍できる地域づくりを行います。 農園を拡大整備し、子どもや子育て世代支援の「たまりば農園」、高齢者支援の「もみの木農園」、障がい者支援の「オレンジ農園」でシェアして農作業を行うことにより、参加者が居場所や存在意義を実感することができる地域共生型の農福連携農園となるように3団体が協働して取組みます。</p>	1,033
<p>〈主担当〉 就労支援ボランティアグループ たんぽぽの会 臼杵市社会福祉協議会 南部地区振興協議会 NPO法人 三色すみれ 三色すみれ 企業組合 野菜畑 三色すみれ 百年木造駅舎3駅の会</p> <p>〔中間支援〕 臼杵のんき屋</p>	<p>無人駅となっているJR上臼杵駅の一角にカフェを設けることにより、地域の交流拠点としての機能強化を図るとともに、就業スタッフとして働く障がい者の手助け、支援を行います。 臼杵市が所有し、南部地区振興協議会が管理を受託しているJR上臼杵駅の一角を利用して障がい者の就業支援につながるカフェを開設します。</p>	1,347
<p>〈主担当〉 認定NPO法人 地域の宝育成支援センター 一般社団法人 フリースクール等連合会</p>	<p>引きこもりや障がいなど様々な理由により、義務教育下で不登校問題を抱えている不登校者・保護者への支援を行います。 NPO・フリースクール・企業が連携し、不登校者や保護者に寄り添いながら、不登校問題の解決・支援を共に行う窓口づくりと、ネットワークの構築を行います。</p>	1,098

#### (4) 冠助成事業

企業訪問時に「〇周年記念行事」等、企業名や商品名などを冠した助成事業について打診し、協力可能ならば予算化をお願いしたが、実現しなかった。

## 2 運営的活動基盤強化事業

### (1) 企業とNPOの協働推進セミナー2022

企業、行政等の社会貢献活動に対する意識を高めるとともにNPO、企業、行政等が地域社会の課題を共有し、それぞれの強みや特性を生かした協働の推進を図ることを目的にセミナーを開催した。

本セミナーでは、「多様な主体との協働がつなぐ地域の創生～ESGでOITAの未来を創る！～」をテーマに、コロナ後を見据え、ESGの視点から多様な主体が

協働して課題解決に取り組むことを目指した。

立教大学特任教授の河口真理子氏による講演や企業のNPO現場体験活動の報告をとおり、ESGや協働に対する理解が一層深まり、公共や民間といった概念や組織の垣根を超えた形での連携やESGに取り組む意識が高まったと思われる。

ESGは、企業の活動とNPOの活動が目指す目的を共通の物差しで表現できるとともに、同じ目標を持った主体どうしがつながり易くなる有効な手段であり、ESGというツールを活用して、NPOと企業をはじめとする様々な主体がつながる機会となった。

- ・日 時 令和4年12月21日(水) 13:30～
- ・会 場 J:COMホルトホール大分3階大会議室
- ・参加者 大分県内のNPO、企業、行政、学生、一般県民など  
67名(うちZOOM参加20):NPO18、企業19、行政16、一般14

① 講演「なぜ協働なのか?ステークホルダー資本主義が意味すること」

講師 立教大学特任教授 河口 真理子 氏

② 「令和4年度企業のNPO現場体験活動」報告

- ・参加企業 鬼塚電気工事株式会社  
体験先 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
- ・参加企業 九州労働金庫大分県本部  
体験先 特定非営利活動法人 地域ひとネット
- ・参加企業 大分航空ターミナル株式会社  
体験先 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT

(2) CSR活動とNPO活動の連携推進委員会(R4.8.1設置)

企業等とNPOなどの多様な主体が、互いを理解し、それぞれの強みや特性を活かして、地域課題を共に考え、解決に向けて共に取り組むパートナーとして協働が推進され、少しでも多くの地域課題の解決が図られることを目的として開催した。

委員構成は、NPOから3名、企業・団体から3名、中間支援団体から3名、及び行政から2名とした。委員会では、NPO、企業等、中間支援団体及び行政の各委員所属団体の取組事例における課題や成果をもとに、CSR活動とNPO活動の連携・協働を如何に図るかについて、重要項目を整理するとともに、今後のCSR関連セミナーのあり方などについて意見交換等を行った。

複雑化、高度化する地域課題の解決のためには、NPO、企業、行政などの多様な主体が連携して活動することが重要であり、委員会は情報交換と今後の連携推進に有益な意見交換や提案を行う場として活用することができた。

①第1回連携推進委員会 令和4年11月9日(水)

②第2回連携推進委員会 令和5年2月7日(火)

### (3) めじろんフォーラム2023

「多様な主体との協働」をテーマに、県内各地域で活動するNPO・ボランティア団体と、社会貢献活動（CSR活動）に取り組む企業や団体等とのパートナーシップ構築を促進し、より多くの地域課題の解決に向けた取組が進むことを目的として開催した。

講演及び活動報告を通じて、企業・団体には、地域課題に応えるためにCSRプログラムをどのように作成し、地域社会の中でどのようにCSR活動を進めるか等について理解を深めていただき、また、NPOには、今後の活動のあり方や企業・団体との連携や協働、支援の獲得に向けて取り組む際のヒントなどを学んでいただく機会が提供できた。

- ・日 時 令和5年3月6日（月） 13:30～
- ・場 所 アイネス 2階 大会議室
- ・参加者 県内NPO 50人、企業・団体 8人、行政など 9人 計67人
- ・プログラム
  - ①企業・団体への感謝状贈呈 11法人
  - ②助成金及び助成物品の贈呈 基盤強化事業 3団体、OA機器助成 21団体
  - ③講演 演題 「NPO・企業・地域・行政の協働を進めるポイントとは」  
講師 協力世界代表 松原 明 氏
  - ④ふるさと創生NPO連携促進事業活動報告 3グループ（協働体）

### (4) NPOセンター事業

今年度もコロナウイルス感染症拡大の影響で、Zoom配信も同時に行った。配信方法等の改善点はあるものの、好評であった。オンライン配信は欠かせないものとなってきている。より精度をあげて対応していきたい。

#### ①スキルアップ講座

- ・伝わるコンテンツの作り方 7/28（木）講師：新見奉之氏
- ・SNS&ホームページを使った情報発信の基礎 8/25（木）講師：新名康行氏
- ・SNS&ホームページを使った情報発信の実践 9/28（水）講師：新名康行氏
- ・効果的なチラシの作り方 1/26（木）講師：森海里氏
- ・事業報告書を作成しよう 2/15（金）講師：安東俊信氏

#### ②チャレンジセミナー 10/28（金）

「29歳移住者がNPOを立ち上げて日曜討論に出演するまで」

講師：松永鎌矢氏（NPO法人リエラ 代表理事）

③出張個別相談会 中止

④会計フォローアップ講座 2/15(水) 運営アドバイザー：松尾直美氏

⑤相談業務

・相談件数等

開館日数	243日/年
来館者総数	215人/年
電話対応件数	123件/年
年間相談件数	319件/年
相談内訳(来訪：41 電話：104 メール：174)	

・相談内容内訳

助成金	19件	6.0%
広報	0件	0.0%
会計・税務	3件	0.9%
団体設立	7件	2.2%
団体運営	3件	0.9%
提出書類	4件	1.3%
おんぼ登録等	5件	1.6%
<b>情報提供依頼</b>	<b>51件</b>	<b>16.0%</b>
企業CSR	0件	0.0%
<b>運営アドバイザー関係</b>	<b>84件</b>	<b>26.3%</b>
<b>講座・セミナー関係</b>	<b>92件</b>	<b>28.8%</b>
リーススペース利用	0件	0.0%
印刷機利用	5件	1.6%
機材・書籍貸出	4件	1.3%
その他	42件	13.2%
<b>合計</b>	<b>319件</b>	<b>100%</b>

⑥運営アドバイザー派遣

年度当初に、財務会計や人事労務、税務、経営戦略などの分野、17名の派遣アドバイザーを委嘱し、NPO団体のニーズに応じて、年間66件の派遣を行った。

### 3 地域課題の分析と研究

#### (1) 大分大学との連携

大分大学と連携して、「令和4年度大分県NPO団体等の現状把握に関する調査」を実施した。本年度は大分県内のNPO団体の現状把握を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響、事業継承についての調査を行った。

今後のNPO団体への支援を検討するための資料とする。

#### (2) 大分市（ライフパル）との連携

大分市のNPO団体数は県全体の約半数を占めていることから、NPO団体への支援を大分市と連携して進めるために定期協議等を行った。

- ①第1回定期協議「令和4年度の事業について」 5/31（火）
- ②第2回定期協議「令和4年度事業経過情報について」 9/28（火）
- ③第6回NPO博への出展 11/20（日）
- ④第3回定期協議「令和4年度事業実施状況、令和5年度事業計画」 2/9（木）

#### (3) SDGsの普及・啓発

12月21日（水）「企業とNPOの協働推進セミナー2022」を開催し、「多様な主体との協働がつなぐ地域創生～ESGでOITAの未来を創る！～」をテーマに普及・啓発を図った。

### 4 基金の強化事業

#### (1) 広報活動

- ① フェイスブック及びホームページへの随時投稿及び更新を行うとともに、めじろんNEWS（NO.24～26）を発行した。
- ② めじろんグッズ（ジャンパー、ティッシュ、のぼり旗等）の配布、貸与を行った。

#### (2) 募金活動

##### ① 賛助会員等からの寄付金

ア 前年度の企業・団体賛助会員（69会員）への継続依頼

訪問及び書面で継続依頼 … 62会員が継続加入、7会員が継続不可であった。

また、前年度継続不可であった企業1社が会員に復帰した。

イ 新規の企業・団体賛助会員の獲得

コロナ禍により新規賛助会員の獲得に向けた企業・団体訪問は、儘ならなかったが、募金箱による寄付募集を見た企業1社から新規会員の申し込みがあった。

※ 企業・団体賛助会員：64会員、寄付金額：1,255,000円

ウ 個人賛助会員の獲得

賛助会員加入の勧誘のため、県職員OB等の訪問、お願い文書の送付を行った。

※ 個人賛助会員：7人、寄付金額：98,000円

② 募金箱による募金

ア 店舗設置の募金箱

設置か所：73か所

※ 募金箱の募金総額：800,819円

イ イベント等設置の募金箱

※ 設置回数：1回、募金総額：8,242円

③ 寄付金付き自動販売機による寄付金

ア 大分航空ターミナル(株)から寄付金(93,674円)を、R4.4.21にホテルニューツルタにおいて受領した。

イ その他の自動販売機4台分(13,074円)は、自販機設置業者から随時に口座振込された。なお、佐伯市上浦町のしおさいの里に設置していた自動販売機が昨年3月末で撤去され、3台となっている。当該自販機の3月分は4月に入金された。

※ 寄付金総額：106,748円

## 5 経常的業務

(1) 監事監査 5/9 (月)

(2) 第45回理事会 「令和3年度事業報告及び決算報告、評議員選定委員の選任、評議員候補者(補欠)の推薦」 5/18 (水)

(3) 第11回評議員選定委員会 「評議員(補欠)の選任」 5/24 (火)

(4) 第13回定時評議員会 「令和3年度事業報告及び決算報告」 6/6 (月)

(5) 第46回理事会 「代表理事の選定、業務執行理事及び副理事長の選定」  
6/23 (木)

(6) 第47回理事会 「令和4年度主要事業進行管理」 11/16 (水)

(7) 第48回理事会 「令和5年度事業計画(案)、令和5年度収支予算(案)、令和4年度主要事業進行管理、寄付実績」 3/13 (月)

# 令和4年度決算報告書

自 令和 4年 4月 1日

事業年度

至 令和 5年 3月 31日

公益財団法人おおいた共創基金

大分市大津町2丁目1番41号  
大分県総合社会福祉会館2階



# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金及び預金	5,092,675	6,337,127	△ 1,244,452
未収入金	669,870	643,456	26,414
前払金	245,076	211,286	33,790
流動資産合計	6,007,621	7,191,869	△ 1,184,248
2 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	250,596	501,188	△ 250,592
その他の固定資産合計	250,596	501,188	△ 250,592
固定資産合計	3,250,596	3,501,188	△ 250,592
資産合計	9,258,217	10,693,057	△ 1,434,840
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	1,298,367	2,300,675	△ 1,002,308
預り金	277,911	261,672	16,239
流動負債合計	1,576,278	2,562,347	△ 986,069
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,576,278	2,562,347	△ 986,069
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	4,681,939	5,130,710	△ 448,771
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	7,681,939	8,130,710	△ 448,771
負債及び正味財産合計	9,258,217	10,693,057	△ 1,434,840

# 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 資産の部</b>				
1 流動資産				
現金及び預金	3,974,368	1,118,307		5,092,675
未収入金	669,870	0		669,870
立替金	99,990	0	99,990	0
前払金	110,488	134,588		245,076
流動資産合計	4,854,716	1,252,895	99,990	6,007,621
2 固定資産				
(1)基本財産				
普通預金	0	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	0	3,000,000	0	3,000,000
(2)特定資産				
特定資産合計	0	0	0	0
(3)その他固定資産				
什器備品	250,596	0		250,596
その他の固定資産合計	250,596	0	0	250,596
固定資産合計	250,596	3,000,000	0	3,250,596
資産合計	5,105,312	4,252,895	99,990	9,258,217
<b>II 負債の部</b>				
1 流動負債				
未払金	1,297,911	456		1,298,367
預り金	277,911	0		277,911
仮受金	99,990	0	99,990	0
流動負債合計	1,675,812	456	99,990	1,576,278
2 固定負債				
固定負債合計	0	0		0
負債合計	1,675,812	456	99,990	1,576,278
<b>III 正味財産の部</b>				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	3,000,000		3,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	(3,000,000)		(3,000,000)
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	3,429,500	1,252,439		4,681,939
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	3,429,500	4,252,439		7,681,939
負債及び正味財産合計	5,105,312	4,252,895	99,990	9,258,217

# 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
I 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	28	28	0
② 受取会費	1,353,000	1,308,000	47,000
③ 事業収益	16,033,870	15,995,995	37,875
受託事業収益	16,033,870	15,995,995	37,875
④ 受取補助金等	3,000,000	3,780,000	△ 780,000
受取地方公共団体補助金	3,000,000	3,780,000	△ 780,000
⑤ 受取寄付金等	951,842	2,086,062	△ 1,134,220
受取寄付金	951,842	2,086,062	△ 1,134,220
⑥ 雑収益	88	79	9
受取利息	88	79	9
雑収益	0	0	0
経常収益計	21,338,828	23,168,104	△ 1,829,336
(2) 経常費用			
① 事業費	21,852,220	21,132,614	519,606
給料手当	9,594,800	9,839,040	△ 244,240
福利厚生費	87,625	76,046	11,579
法定福利費	1,493,314	1,440,143	53,171
旅費交通費	989,526	877,206	112,320
通信費	761,290	826,555	△ 65,265
消耗品費	249,664	240,181	9,483
水道光熱費	250,089	195,354	54,735
広告宣伝費	286,420	266,420	22,000
賃借料	172,090	108,440	63,650
支払報酬	1,216,708	1,051,046	165,662
支払助成金	4,884,220	4,579,525	304,695
租税公課	728,700	726,900	1,800
リース料	41,976	41,976	0
外注費	257,200	257,200	0
事務用品費	0	0	0
支払手数料	51,700	56,125	△ 4,425
減価償却費	250,592	241,312	9,280
雑費	334,306	309,145	25,161
② 管理費	135,379	113,648	21,733
福利厚生費	25,907	21,507	4,400
旅費交通費	26,855	15,467	11,388
通信費	2,122	2,284	△ 162
消耗品費	0	0	0
支払手数料	1,595	1,595	0
賃借料	33,900	29,040	4,860
租税公課	600	600	0
雑費	44,400	43,153	1,247
経常費用計	21,787,598	21,246,260	541,339
当期経常増減額	△ 448,771	1,921,904	△ 2,370,675
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前一般正味財産増減額	△ 448,771	1,921,904	△ 2,370,675
一般正味財産増減額	△ 448,771	1,921,904	△ 2,370,675
一般正味財産期首残高	5,130,710	3,208,808	1,921,904
一般正味財産期末残高	4,681,939	5,130,710	△ 448,771
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	7,881,939	8,130,710	△ 448,771

# 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	0	28		28
② 受取会費	1,213,000	140,000		1,353,000
賞助会員会費	1,213,000	140,000		1,353,000
③ 事業収益	16,033,870	0		16,033,870
受託事業収益	16,033,870	0		16,033,870
④ 受取補助金等	3,000,000	0		3,000,000
受取地方公共団体補助金	3,000,000	0		3,000,000
⑤ 受取寄付金等	951,842	0		951,842
受取寄付金	951,842	0		951,842
⑥ 雑収益	43	45		88
受取利息	43	45		88
雑収益	0	0		0
<b>経常収益計</b>	<b>21,198,755</b>	<b>140,073</b>		<b>21,338,828</b>
(2) 経常費用				
① 事業費	21,652,220	0		21,652,220
給料手当	9,594,800	0		9,594,800
福利厚生費	87,625	0		87,625
法定福利費	1,493,314	0		1,493,314
旅費交通費	989,526	0		989,526
通信費	761,290	0		761,290
消耗品費	249,664	0		249,664
水道光熱費	250,089	0		250,089
広告宣伝費	288,420	0		288,420
賃借料	172,090	0		172,090
支払報酬	1,216,708	0		1,216,708
租税公課	728,700	0		728,700
支払助成金	4,884,220	0		4,884,220
リース料	41,976	0		41,976
外注費	257,200	0		257,200
事務用品費	0	0		0
支払手数料	51,700	0		51,700
減価償却費	250,592	0		250,592
雑費	334,306	0		334,306
② 管理費	0	135,379		135,379
福利厚生費	0	25,907		25,907
旅費交通費	0	26,855		26,855
通信費	0	2,122		2,122
消耗品費	0	0		0
支払手数料	0	1,595		1,595
賃借料	0	33,900		33,900
租税公課	0	600		600
雑費	0	44,400		44,400
<b>経常費用計</b>	<b>21,652,220</b>	<b>135,379</b>		<b>21,787,599</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 453,465</b>	<b>4,694</b>		<b>△ 448,771</b>
<b>2 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
他会計繰替前一般正味財産増減額	△ 453,465	4,694		△ 448,771
他会計繰替額	0	0		0
<b>一般正味財産増減額</b>	<b>△ 453,465</b>	<b>4,694</b>		<b>△ 448,771</b>
一般正味財産期首残高	3,882,965	1,247,745		5,130,710
一般正味財産期末残高	3,429,500	1,252,439		4,681,939
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	0	0		0
受取寄付金	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000		3,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>				
正味財産期末残高	3,429,500	4,252,439		7,681,939

# 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	7,526		
普通預金 大分銀行 支店 6919656	1,659,343		
普通預金 大分銀行 支店 7502470	1,187,324		
普通預金 豊和銀行 本店 1407991	877,413		
普通預金 豊和銀行 本店 1412022	1,089		
普通預金 大分県信用組合 本店 4103776	55,746		
普通預金 大分信用金庫 本店 1153326	111,729		
普通預金 日田信用金庫 本店 0284439	106,723		
普通預金 大分みらい信用金庫 本店 9427658	21,508		
振替貯金 ゆうちょ銀行 支店 01750-9-72685	43,702		
普通預金 九州労働金庫 6496978	80,688		
普通預金 大分銀行 支店 7604961	938,881		
普通預金 大分銀行 支店 7658695	1,003		
現金預金小計	5,092,675		
未収入金 大分県 運営事業費	669,870		
前払金 労働保険料	245,076		
流動資産合計		6,007,621	
<b>2 固定資産</b>			
(1)基本財産			
普通預金 大分銀行 支店 7522679	3,000,000		
基本財産合計	3,000,000		
(2)特定資産			
特定資産合計	0		
(3)その他固定資産			
什器備品 パソコン5台	250,596		
その他の固定資産合計	250,596		
固定資産合計		3,250,596	
資産合計			9,258,217
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金 消費税	365,300		
未払金 3月分給与	688,529		
未払金 3月分社会保険料	128,300		
未払金 3月分謝金	39,134		
未払金 3月経費	77,104		
未払金小計	1,298,367		
預り金 3月分源泉税・社会保険料等	277,911		
流動負債合計		1,576,278	
<b>2 固定負債</b>			
固定負債合計		0	
負債合計			1,576,278
<b>III 正味財産の部</b>			7,681,939

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的有価証券…総平均法に基づく原価法  
その他有価証券…決算日の市場価格に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法…最終仕入原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産…法人税法の規定に基づく定率法  
無形固定資産…法人税法の規定に基づく定額法
- (4) 引当金の計上基準  
貸倒引当金…債権の回収可能性を個別に見積り計上している。
- (5) リース取引の処理方法  
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税の会計処理  
税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 表示方法の変更

該当なし

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高の内訳は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	負債に対応 する額
基本財産				
普通預金	3,000,000	(3,000,000)		0
合計	3,000,000	(3,000,000)		0

6 担保に供している資産

該当なし

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	償却累計額	当期末残高
什器備品	742,500	491,904	250,596

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残

該当なし

9 保証債務等の偶発債務

該当なし

10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12 基金及び代替基金の増減額およびその残高

該当なし

13 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

14 関連当事者との取引の内容

該当なし

15 重要な後発事象

該当なし